



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所 東
 コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経理部長 (氏名)青木 経一郎 (TEL) 03 (3899)2101
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	7,711	4.8	890	5.6	909	5.6	618	6.8
30年3月期第3四半期	7,355	1.7	843	—	860	—	578	—

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 586百万円(△9.1%) 30年3月期第3四半期 645百万円(1.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	187.14	—
30年3月期第3四半期	175.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	16,098	12,377	75.7
30年3月期	16,068	11,956	73.2

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 12,185百万円 30年3月期 11,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
31年3月期	—	30.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

31年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 記念配当10円00銭

31年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 記念配当10円00銭

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	3.5	1,270	1.6	1,290	1.6	880	2.0	266.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	3,420,000株	30年3月期	3,601,681株
31年3月期3Q	117,177株	30年3月期	298,858株
31年3月期3Q	3,302,823株	30年3月期3Q	3,302,965株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の景気対策等により堅調に推移しておりますが、米国や中国、EUなど動向により世界経済が受ける影響は未知数であり、依然として先行き不透明な状況にあります。

医療・介護・福祉業界は、高齢者人口の増加を背景として需要は堅調に推移しておりますが、平成30年度において診療報酬・介護報酬が改定され、医療機関等の機能分化の推進に向けて、引き続き厳しい対応が求められました。

このような環境のもと当社グループは、蓄積した各種ノウハウをいち早く、医療・介護・福祉等の現場で、多様化する顧客ニーズの状況に即した対応と営業力の強化を継続してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は7,711百万円（前年同四半期比4.8%増）、連結営業利益は890百万円（前年同四半期比5.6%増）、連結経常利益は909百万円（前年同四半期比5.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は618百万円（前年同四半期比6.8%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、日帰り手術の増加等医療技術の進歩や医療機関数の減少、DPC（包括医療制度）導入病院の増加などを背景として、医療用酸素ガスの消費量が年々減少傾向にある厳しい事業環境が続きました。このような環境のもと、24時間緊急対応が可能な医療用ガスの供給体制を維持し、「保安と安定供給」を第一義とした事業運営に徹しつつ、新規顧客の獲得と新しいビジネスモデルの開拓などに取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は2,495百万円（前年同四半期比1.2%増）、セグメント利益は257百万円（前年同四半期比14.1%減）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、学会への出展や病院内でのPR活動などきめの細かい営業活動を展開し、自社開発の高機能リモコン「パレット」を搭載した酸素濃縮器「WESTELLA（ウイステラ）」は、着実に市場への浸透と新規顧客の獲得を進めることができました。また、利用者数の増加に伴い市場規模の拡大が顕著な「CPAP」（持続陽圧呼吸療法）も好調に推移いたしました。

また、安心・安全で納得のできる質の高い医療の実現と、医療従事者の負担軽減など診療サポートに寄与できるアイテムとして「オンライン診療システム」の提供も堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は3,292百万円（前年同四半期比3.9%増）、セグメント利益は464百万円（前年同四半期比21.8%増）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、消火設備工事が、顧客ニーズに対応した営業活動を積極的に推進し、好調に推移したものの、医療用ガス設備工事は、建築価格の高騰、競合他社との受注競争の激化等の要因により、低調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は664百万円（前年同四半期比6.5%増）、セグメント利益は65百万円（前年同四半期比14.8%減）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連商品のレンタル及び販売部門において、地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への継続的な営業強化が奏功し、レンタル売上が順調に推移いたしました。

また、訪問看護・居宅支援事業所は、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション巣鴨」（東京都文京区）、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション王子」（東京都北区）の3拠点を事業基盤として、地域へのPR活動強化による認知度アップとスタッフの増員など運営体制の強化に努めました。

これらの結果、売上高は507百万円（前年同四半期比20.5%増）、セグメント利益は56百万円（前年同四半期比19.1%減）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」(東京都杉並区)の、24時間看護師常駐、地元医療機関との連携強化などの付加価値サービスの提供を通じて、ご入居者様、ご家族様に「安心と安全」をお届けすることをモットーとした運営管理に徹し、新規ご入居様の確保に努めました。さらに、平成29年に着手した体制再構築活動の成果も発現しつつあり、入居率は改善傾向で推移いたしました。

また、通所介護施設「あしつよ・文京」(東京都文京区)、「あしつよ巣鴨」(東京都豊島区)、「あしつよ王子」(東京都北区)は、地元に着したサービスの提供と新たな顧客ニーズの発掘に努め、稼働率アップを図りました。

これらの結果、売上高は241百万円(前年同四半期比18.4%増)、セグメント損失は26百万円(前年同四半期セグメント損失52百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は16,098百万円(前連結会計年度末比30百万円増)となりました。これは主に、現金及び預金が129百万円増加し、受取手形及び売掛金が545百万円減少し、たな卸資産が164百万円増加し、有形固定資産が237百万円増加し、投資その他の資産のその他に含まれている保険積立金が20百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は3,721百万円(前連結会計年度末比390百万円減)となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が265百万円、未払法人税等が118百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は12,377百万円(前連結会計年度末比421百万円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上と配当金の支払いおよび自己株式の消却等により利益剰余金が141百万円、自己株式が311百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,796,503	7,925,759
受取手形及び売掛金	2,508,225	1,962,351
たな卸資産	77,250	241,690
その他	70,243	112,353
貸倒引当金	△3,531	△2,895
流動資産合計	10,448,692	10,239,259
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	705,583	693,143
土地	2,115,749	2,219,172
その他(純額)	1,127,064	1,273,714
有形固定資産合計	3,948,397	4,186,030
無形固定資産		
投資その他の資産	13,657	16,869
投資有価証券	926,106	895,795
その他	733,099	768,308
貸倒引当金	△1,785	△7,269
投資その他の資産合計	1,657,420	1,656,834
固定資産合計	5,619,474	5,859,734
資産合計	16,068,167	16,098,994
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,956,706	1,691,115
未払法人税等	225,236	106,824
賞与引当金	107,000	60,000
その他	975,650	999,326
流動負債合計	3,264,594	2,857,266
固定負債		
役員退職慰労引当金	475,170	461,610
その他	372,019	402,681
固定負債合計	847,189	864,291
負債合計	4,111,783	3,721,557

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	11,100,549	11,241,748
自己株式	△513,025	△201,261
株主資本合計	11,537,412	11,990,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	221,684	192,290
退職給付に係る調整累計額	5,610	2,351
その他の包括利益累計額合計	227,294	194,641
非支配株主持分	191,677	192,418
純資産合計	11,956,383	12,377,436
負債純資産合計	16,068,167	16,098,994

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	7,355,928	7,711,245
売上原価	3,542,940	3,735,366
売上総利益	3,812,987	3,975,878
販売費及び一般管理費	2,969,819	3,085,644
営業利益	843,168	890,234
営業外収益		
受取利息	2,553	2,152
受取配当金	14,092	13,784
その他	6,750	9,211
営業外収益合計	23,395	25,148
営業外費用		
支払利息	5,695	6,223
営業外費用合計	5,695	6,223
経常利益	860,867	909,159
特別利益		
固定資産売却益	965	1,035
特別利益合計	965	1,035
特別損失		
固定資産除却損	126	110
特別損失合計	126	110
税金等調整前四半期純利益	861,706	910,084
法人税等	277,935	286,005
四半期純利益	583,771	624,079
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,203	5,974
親会社株主に帰属する四半期純利益	578,567	618,105

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	583,771	624,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,811	△34,448
退職給付に係る調整額	△3,434	△3,436
その他の包括利益合計	61,377	△37,885
四半期包括利益	645,148	586,193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	640,522	585,452
非支配株主に係る四半期包括利益	4,626	741

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年9月7日開催の取締役会決議に基づき、平成30年9月28日付で、自己株式181,681株の消却を実施しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ311,764千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が11,241,748千円、自己株式が201,261千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結結果計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,466,535	3,167,236	624,316	421,355	204,253	6,883,697	472,230	7,355,928
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	76,559	—	—	76,559	—	76,559
計	2,466,535	3,167,236	700,875	421,355	204,253	6,960,256	472,230	7,432,487
セグメント利益 又は損失(△)	300,079	381,032	77,235	69,662	△52,495	775,513	67,654	843,168

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	775,513
「その他」の区分の利益	67,654
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	843,168

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,495,946	3,292,030	664,798	507,621	241,780	7,202,176	509,069	7,711,245
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	73,503	—	—	73,503	—	73,503
計	2,495,946	3,292,030	738,301	507,621	241,780	7,275,679	509,069	7,784,748
セグメント利益 又は損失(△)	257,706	464,072	65,794	56,372	△26,350	817,595	72,638	890,234

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	817,595
「その他」の区分の利益	72,638
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	890,234

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。